

科目分類	看護専門科目 応用看護		開講時期	3年	前期
科目名	ターミナル看護				
選択/必修	選択	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態 講義
担当教員	内布 敦子				
メールアドレス	a-uchinuno@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	授業時間の後 1 コマ		

授業目的	<p>1. 終末期患者の特徴とターミナルケア、緩和ケアの基本的な知識と考え方を理解する</p> <p>2. その人らしい最後の過ごし方を支援する看護のありかたを理解する。</p>
授業概要	<p>入院、在宅など療養の場に限らず緩和ケアを提供するうえで必要な基本的知識と技術を教授する。残された時間が限られた人の全人的苦痛、症状コントロール、家族の心理、倫理的課題、ACPの現状などについて学び、患者・家族への看護について考える。同時に自らの死生観を醸成する。</p>
授業計画	<p>第1回 ターミナル、終末期、End of Life、人生の最終段階の定義</p> <p>第2回 緩和ケアの概念、</p> <p>第3回 End of Life Care の考え方</p> <p>第4回 終末期の身体的変化 がん、非がん（心不全、呼吸不全、難病等）</p> <p>第5回 終末期の症状マネジメントとケア</p> <p>第6回 終末期の心理的变化、スピリチュアリティ</p> <p>第7回 Advanced Care Planning について（ディスカッション）</p> <p>第8回 終末期の対話について（ディスカッション）</p>
教材 参考文献等	<p>日本学術会議 対外報告 終末期医療の在り方について http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-t51-2.pdf 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインと解説 https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10802000-Iseikyoku-Shidouka/0000197701.pdf https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10802000-Iseikyoku-Shidouka/0000197702.pdf 緩和・ターミナルケア看護論第2版 鈴木志津枝、内布敦子編集 ノーヴェルヒロカワ</p>
成績評価 基準・方法	<p>ディスカッション参加状況 30% 課題レポート 70%</p>
履修要件	<p>特になし</p>

留意事項 その他	本科目を修得していないと、在宅看護学実習Ⅱは履修できません。
実務経験のある 教員の教育方法	がん領域のターミナルケアの臨床実務経験を踏まえて実践的な教育内容を提供する。